

## 会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	板倉尚子
担当業務	【310】保健領域業務推進事業（学校保健および母子保健領域） 【313】動物に対する理学療法の推進に向けた関係団体連携事業

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10月04日(土)		出席：第5回理事会	日本理学療法士協会会館
10月08日(水)		出席：全国職能・政策担当者会議	WEB
10月10日(金)		出席：日本理学療法士連盟主催研修会	TKP 新橋カンファレンスセンター
10月10日(金)		出席：創立60周年記念式典	東京プリンスホテル
10月11日(土)		出席：組織運営協議会	日本理学療法士協会会館
10月14日(火)		打合せ：職能推進課（学校保健事業）	WEB
10月16日(木)		出席：全国職能・政策担当者会議	WEB
10月19日(日)		出席：全国学校保健担当者会議	WEB
11月20日(金)		出席：国民医療を守るための総決起大会	日医会館大講堂
11月24日(祝)		出席：中間監査会	日本理学療法士協会会館
11月24日(祝)		出席：第5回業務執行理事会	日本理学療法士協会会館
12月04日(木)		打合せ：動物に対する理学療法部会（有識者との意見交換）	WEB
12月05日(金)		出席：賛助会員懇談会	TKP 赤坂カンファレンスセンター
12月06日(土)		出席：第3回理事懇談会	WEB
12月06日(土)		出席：第6回理事会	日本理学療法士協会会館
12月23日(火)		出席：第6回業務執行理事会	WEB
所感	<p>・全国都道府県士会学校保健担当者会議を開催した。本会議の目的は学校保健のありかたと学校現場への介入方法を学び、全国均一に子どもの運動器の健康を育むための事業推進を図ることである。学校保健事業が今年度事業計画されているのは26士会であり、特に認定スクールトレーナー資格保有者が多い士会では研修や出前授業を中心に活動を展開していた。計画未定の士会からは参考事例を求める意見があり、今回作成した動画コンテンツ視聴を促した。本会は関係省庁への働きかけを継続、都道府県理学療法士会においては市区町村教育委員会や校長への働きかけについて説明した。弁護士からの法的留意点については以下の説明があった。①医師の指示が不要な範囲であれば、理学療法士による教育的活動（健康増進・障害予防等）は法的に実施可能である。②学校・自治体との契約は、書面化（契約</p>		

	<p>書またはメール等)を必須とする。③契約形態は、成果保証型ではなくサービス提供型とする。④現状、理学療法士が学校保健領域に関与することに関し創世記にあることから、契約主体は、個人ではなく理学療法士協会などの組織単位で行うことが望ましい。⑤学校・自治体の個人情報取扱ルールを遵守し、要配慮個人情報には特に注意を要する。⑥医師の監督が必要な医療行為は行わず、必要時は学校医・養護教諭等と連携してチームで対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に対する理学療法検討部会に有識者(獣医師／日本小動物外科専門医、アジア獣医外科設立専門医として運動器外科領域を牽引し、国内でも数少ない小動物外科専門医)を招き、現状の課題と社会実装(案)、および「動物理学療法士」制度確立について意見交換を行った。人に係る理学療法は厚生労働省管轄、獣医療は農林水産省であることから、法案作成や予算配分、事業推進を行う仕組みづくりに関して共同主管が必要であること、海外での資格認定などについて意見交換をした。獣医療に理学療法の必要性は理解しており、動物に対する理学療法の社会実装に向けての協力する旨の意向を確認した。また、年度内にCCRP資格を創設されたテンシード大学教授(理学療法士)および日本獣医師会の小動物職域理事とも意見交換をする準備を進めており獣医療関係者との関係構築を進める。</li> <li>・スポーツ庁審議会 スポーツ基本計画部会(第3期)(第8回)に本会を含む各種団体より第4期スポーツ基本計画の策定に向けた提言が行われた。スポーツ関連事業への理学療法士の活用・需要が期待されるとともに、「部活動の地域展開をはじめとした、子供たちが将来にわたり豊かで幅広いスポーツに親しむ機会の確保・充実」が諮問されており、本会においても部活動支援事業を計画・実施する。</li> </ul>
報告日	2026年01月14日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。